



令和 4 年度

東秩父村社会福祉協議会

会員数及び会費集計表

単位：人・円

	口数	会費	会員数	会費
一般会員	834	1,000	834	834,000
賛助会員	25	3,000	25	75,000
特別会員	16	5,000	15	80,000
合計	875		874	989,000
会員内訳	個人	862		
	法人	12		

令和 4 年度の会費につきましては、行政区長さんのご協力を得て、左表の通りとなりました。会員数は、昨年との比較で一般会員が 14 人、賛助会員が 2 人の減となり、特別会員数の増減はありませんでした。また、会費では、総額 989,000 円となり、昨年との比較で 21,000

0 円の減となりました。社協会費につきましては、このたよりでもご紹介いたします各事業の運営に充てる貴重な財源とさせていただいています。今後も会員の皆様に、より必要とされる社協となるべく、努力してまいりますので、ご協力をよろしくお願致します。

令和 4 年度

## 社協会費納入状況報告

新しいタブレットをお届けします

## シルバー人材センター会員がご自宅へ

～～ 1 1 月から運用が開始される村の防災タブレット～～



説明を受けるシルバー会員

昨年 7 月には、旧システムの運用状況を確認に訪問いたしました。今回は、新しい防災タブレットをお届けに訪問いたします。会員は、総務課防災担当職員から配布方法についての説明を受け、1 1 月 1 日より担当地区を訪問することとなりました。

今回の訪問では、タブレットを配布することが主な業務となりますので、タブレットの使用方法については、同時にお配りする「かんたん使い方ガイド」でご確認ください。基本的な、操作につきましては、旧タイプのタブレットとあまり変わりはないようですので、まずは、タッチして利用を開始してみてください。

村では、1 月にシルバー会員による巡回訪問を実施し、その際に使用方法等はお伝えする予定とのことです。

古いタブレット端末は、訪問時に回収致します。タブレット本体、スタンド、コードをまとめておいていただくと回収がしやすくなります。ご協力をお願いします。

## 令和4年度東秩父村老人クラブ連合会 会員親善グラウンドゴルフ大会結果

10月25日(火)、令和4年度東秩父村老人クラブ連合会会員親善グラウンドゴルフ大会を総勢33名の参加で盛大に開催しました。

優勝は根岸良次さん(安戸)、準優勝は豊田ノブ子さん(安戸)、第3位は若林全さん(御堂)でした。



## 赤い羽根共同募金運動

運動期間 10月1日▷3月31日

本社会福祉協議会では、11月を中心に赤い羽根共同募金運動へのご協力をお願いしています。

赤い羽根共同募金は、全国共通助成テーマを「つながりをたやさない社会づくり」として、皆様のご支援、ご協力をお願いしています。

募金の主な用途は、次の通りです。

- ・コロナ禍の子供やその家族を支援する事業助成
- ・地域の福祉団体の活動助成
- ・市町村社会福祉協議会の福祉活動助成
- ・福祉施設の補修や備品の購入
- ・歳末たすけあい支援事業
- ・災害時にボランティア等を支援する準備
- ・県内の児童養護施設の子どもの進学費用等に充てられます。

## 日赤会費の用途について

社協だより9月号でご報告いたしました日赤会費(877人の方から438,800円の納入)の用途について主なものをご説明いたします。

この内容は、会員募集開始前にお伝えすべき内容でしたが、来年度の参考にご覧ください。

### ○災害救助訓練

被災地で迅速に医療活動を展開するため、さまざまな災害を想定した訓練の実施

### ○ボランティアの育成

災害時はもちろん、日頃から地域、学校で活躍するボランティアを育成

### ○救助物資の備蓄

災害時に必要となる物資を、様々な拠点に配備

### ○被災地での活動

医療救護・こころのケア・血液製剤の供給を実施

### ○地域防災力の向上

地域の自助、共助の力を高めるため、命を守る知識と技術を伝えるセミナーを実施

## シルバー人材センター11月の会員説明会

期日 令和4年11月10日(木) 午前10時より

会場 コミュニティセンター

シルバー人材センターでは、多くの就業依頼にこたえられるよう、障子張りや筆耕等ができる会員もお待ちしております。

なお、網戸の張替をお受けできる予定です。詳しくは、次号でごお知らせ致します。

たより雑感  
今年も多くの方の会員の皆様に社協会費を納入していただき、ありがとうございます。人口の減少もあり、社協会費は年々減少してはいますが、貴重な財源を有効に活用できるように、社協職員一同それぞれの事業に取り組んでまいります。

そのため、昨年度末に社協のこれまでの事業を見直すための中期計画を策定し、その概要は8月号の社協だよりで紹介致しました。また、この計画とは別に、今後の社協事業の在り方を取りまとめた、業務改善計画を策定し、会員の皆様の今後の生活がより安定して送られるよう、取り組んでまいります。

10月より、社協ヘルパーが、安戸地区より高齢者世帯訪問を実施しています。日頃の生活の中で、何か心配なことがあります。したら、訪問時にお話しただければ、社協だけでなく、村の関係課へもおつなぎしますので、ご利用ください。